

「平成28年度ぐんま輸入食品安全・安心セミナー」を開催しました。

平成26年度に県で実施した「食品の安全等に関する県民意識調査」において、「食品を安全性への不安」の第1位が「輸入食品」であり、「県に重点的な取組を望む項目」の第1位が「輸入食品の安全性確保」でした。このことから、依然として、県民の「輸入食品」に対する不安感が高く、県への安全性確保の対策が望まれていることから、国や県、民間企業における輸入食品の安全・安心の取組に関するセミナーを実施しています。

今回は、日々の生活により身近な生活協同組合や冷凍食品業者における輸入食品の安全性確保の取り組みに関するセミナーを開催しました。

1 日時 平成29年1月23日(月) 午後1時30分から午後4時30分

2 会場 県庁ビジターセンター

3 プログラム

1. 講演

「株式会社ニチレイフーズにおける輸入食品の安全性確保等の取り組みについて」

講師：株式会社ニチレイフーズ 品質保証部長 川崎 順司 氏

「コープネット事業連合における輸入食品の安全性確保等の取り組みについて」

講師：生活協同組合連合会コープネット事業連合 CSR推進室長 岩佐透 氏

2. 意見交換

4. 参加者 69名

今回は、株式会社ニチレイフーズ品質保証部長の川崎順司氏、生活協同組合連合会コープネット事業連合CSR推進室長の岩佐透氏のお二方を講師としてお招きしました。

株式会社ニチレイフーズ品質保証部長の川崎順司氏からは、皆さんに馴染みのある冷凍食品や冷凍野菜の安全性確保のためにどのような取組が行われているか、消費者の方に安心をお届けするための(株)ニチレイフーズ独自の品質管理のルールや仕組みなどについてご講演いただきました。また、生活協同組合連合会コープネット事業連合CSR推進室長の岩佐透氏からは、消費者に身近なコープぐんまを含むコープネット事業連合としての輸入食品の取扱いの考え方を中心に、食料品の輸入や食品表示など幅広い分野に関してご講演いただきました。

参加されたアンケート調査では、講演内容を「十分理解できた」、「少し理解できた」とほとんどの方々から回答があり、また、今回のセミナーを通じて輸入食品に対する考え方が「大きく変わった」、「少し変わった」との回答を半数以上の方から回答がありました。

参加者からの主な感想は以下のとおりです。

- ・ 輸入食品の取扱いについて、企業の考え方を知るのは有意義であった。
- ・ 県でこのようなセミナーを開催していただき、有り難いです。日頃より不安を感じていたので、ためらいなく参加致しました。
- ・ 食品の安全は、企業と提供するコープネットと消費者の信頼関係により成り立つことが深く分かりました。ありがとうございました。
- ・ 消費者と事業者の両方の目線を理解して、お互いに妥協点を見つけて、協力し合う関係性が重要だと感じた。



(写真) ニチレイフーズ 川崎氏 講演



(写真) コープネット事業連合 岩佐氏 講演



(写真) 意見交換会